

自殺予防シンポジウム

-参加費-  
無料

-定員-  
150名

# 熟年期・高齢期の こころの危機について考える

仕事、家族との関係、体の健康、将来への不安…  
ライフステージを登っていく中で、  
熟年期・高齢期のこころは新しい危機に直面します  
あなたのこと、あなたの周りの方のこと  
一度立ち止まり、みなさんで一緒に考えてみませんか？  
多くの方のご参加をお待ちしています

平成29年  
2月19日(日)10:00~

開催会場:香川県社会福祉総合センター 7階大会議室

## プログラム

10:00 開会

10:05  
▼  
11:05 ●基調講演  
「熟年期・高齢期のメンタルヘルス」  
講師 筑波大学教授 高橋 祥友

●シンポジウム  
「熟年期・高齢期のこころの危機について考える」

(シンポジスト)  
「人生の午後を生きる人々。メンタルクリニックの視点から」  
竜雲メンタルクリニック 臨床心理士 溝口 盛治

11:10  
▼  
12:10 「臨床の現場から:熟年期の危機—うつ状態からの回復プロセス」  
香川県立丸亀病院 精神看護専門看護師 沖野 一成

「ひとりぼっちにさせない地域の仕組みづくり~居場所と見守りネットワーク~」  
高松市社会福祉協議会 事務局次長 松原 文子

「民生児童委員活動における見守り活動とその中でのジレンマ」  
さぬき市志度地区民生委員児童委員 本間 立治

(コーディネーター)  
黒河内 美鈴(香川県臨床心理士会会長)

12:10 休憩

12:20 ディスカッション

13:00 閉会

STOP

## 講師紹介

東京都生まれ。金沢大学医学部卒。精神科医。医学博士。  
東京医科歯科大学、山梨医科大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(フルブライト研究員)、東京都精神医学総合研究所研究員、防衛医科大学校教授を経て、2012年より筑波大学医学医療系災害支援学教授。専門は精神医学、メンタルヘルス、自殺予防、比較精神医学、生命倫理。  
著書に「自殺の危険—臨床的評価と危機介入—」(金剛出版)「自殺の心理学」(講談社現代新書)「自殺のサインを読みとる 改訂版」(講談社文庫)「精神科医がすすめる“こころ”に効く映画—シネマ処方箋」(日経ビジネス人文庫)「自殺予防へのプロの対応—医療従事者のための早期発見と治療」(医学と看護社)、翻訳にジョージ・A・ボナーノ「レジリエンス」(金剛出版)、「老年期うつ—見逃されやすいお年寄りの心」(講談社)、「中高年自殺—その実態と予防のために」(筑摩書房)他多数。

## 主催

香川県臨床心理士会

## 後援

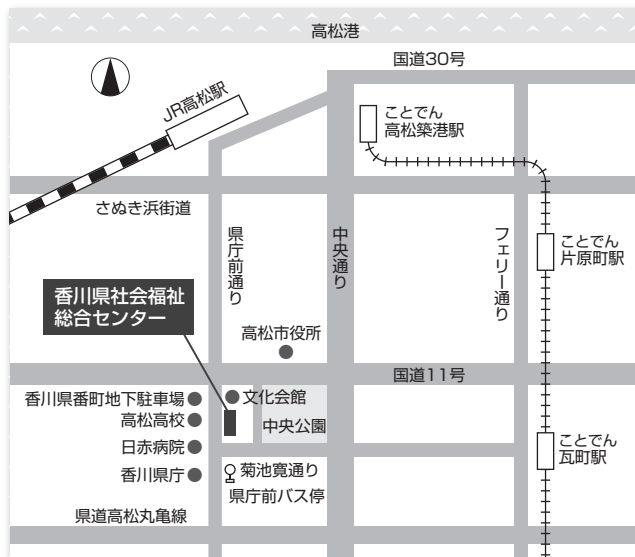
香川県 高松市  
社会福祉法人香川県社会福祉協議会  
香川県教育委員会 高松市教育委員会  
香川県自殺対策連絡協議会 香川大学  
香川県医師会 公益社団法人香川県看護協会  
一般社団法人日本臨床心理士会

●問い合わせ先 香川県臨床心理士会 事務局

香川県高松市多肥下町466 竜雲メンタルクリニック内 香川県臨床心理士会事務局 Tel 087-840-0735 <http://www.kgwscpp.jp/>

※本シンポジウムは、香川県地域自殺対策強化事業費補助金の交付を受けて行われています。

## 会場案内



## 参加申込方法

**申込先** 香川県臨床心理士会事務局

**申込方法** FAXまたはホームページよりお申し込み下さい。

**FAX**

この用紙に必要事項を記入の上、そのまま送信してください。

**FAX:087-840-0737**

**ホームページより**

香川県臨床心理士会のホームページの「お知らせ」のコーナーにある「自殺予防シンポジウム」の申し込みフォームよりお申し込み下さい。

<http://www.kgwscpp.jp/>

**定員**

**150名 先着順**

**申込締め切り**

**平成29年2月13日(月)**

\*定員に達し次第、締め切らせていただきます。なお、定員を超えるなど、受付できなかった場合のみご連絡をさせていただきます。

\*ご記入いただきました個人情報は、本シンポジウム以外の目的には使用いたしません。

## 参加申込書

氏名 <small>ふりがな</small>	お住まい(市町名のみ)	所属	連絡先(電話番号)

**平成29年2月13日(月)必着**

**FAX:087-840-0737**

※この番号は本シンポジウム申込専用番号です。締め切り後は使用できません。